

災害ボランティアセンターの組織について

(2) センターの組織について

スタッフの配置にあたっては、以下の事項に留意するものとする。

- ① 災害ボランティアセンタースタッフ等の経験がある人が各班に分散するよう留意する。
- ② 活動の継続性、一貫性を保つため、長期間活動できる人が各班に分散するよう留意する。
- ③ ニーズ班、送り出し班は、被災地の地理、地域性等に詳しい人を配置するよう留意する。
- ④ 各人が持っている技術、資格が活用できるように配置を工夫する。
- ⑤ 班の業務量は、時期や曜日、時間帯によっても異なることから、各班の間で柔軟に応援体制を組むようにする。

(3) 各班の活動内容・手順について

被災状況、住民の状況を考慮し、次の各班の活動内容・手順を叩き台として、各班に配属されたスタッフが協議を行い、各班の活動内容・手順を決定する。

- 受付班 ⇒ ボランティアの受け入れ、保険加入チェック及び未加入者の手続き、活動報告受付（継続ニーズの把握）など
- ニーズ班 ⇒ 被災者からのニーズ把握など
- マッチング班 ⇒ 被災者ニーズとボランティアの活動希望のマッチングなど
- 送り出し班 ⇒ ボランティアへの地理案内、送迎など
- 資材班 ⇒ ボランティア活動に必要な資材の受け渡し、管理など
- 総務班 ⇒ 全体の取りまとめ、会計、情報管理など
- 救護班 ⇒ ボランティアやスタッフの体調・健康管理など